

<博士課程：分子細胞医学専攻、生体機能調節医学専攻、地域
疾病制御医学専攻>

研究テーマの妥当性：

学術的意義、新規性、独創性、応用的価値を有しているか。
当該分野および関連分野の学問研究に貢献できる内容を含ん
でいるか。

研究方法と論旨の展開：

研究方法が明確かつ具体的に記述されているか。
事実調査や文献などの研究資料の検索・評価が十分になされ
ているか。
研究データの分析・解釈が的確であるか。
結果および解析・考察の展開が論理的かつ説得力があるか。
文献などの研究資料の読解が正確であるか。

学術的意義：

研究内容に独自性があり、十分な検証が行われ、新しい知見
を有しているか。
当該研究の限界が明示されているか。
未解決の問題について、今後の見通しが提示されているか。
当該研究において達成された内容が、今後の教育・研究・診
療などに貢献しうるか。

論文構成：

博士学位論文として、テーマにふさわしい適切かつ十分な分
量と形式を有しているか。
文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれてい
るか。

倫理的配慮：

研究の対象となる個人の人権擁護、個人の尊厳および人権が
尊重されているか。
ヘルシンキ宣言や個人情報保護に関する法律を踏まえてい
るか。